

(仮訳)

プレス・リリース

2024 年 11 月 20 日

バーゼル銀行監督委員会（以下「バーゼル委」）は、バーゼルⅢの実施への期待を再確認し、銀行のカウンターパーティ信用リスク管理を強化するためのガイドラインを最終化し、監督上の実効性を強化するための作業を進展させる。

- バーゼルⅢを完全かつ整合的な形で、かつ可能な限り早期に実施することへの期待を全会一致で再確認。
- 銀行のカウンターパーティ信用リスク管理強化のためのガイドラインを最終化。
- 2023 年の銀行を巡る混乱を受けた、監督上の実効性を強化するための作業を進展。

バーゼル委は、2024 年 11 月 19-20 日にスイス・バーゼルで会合を開催し、最近の市場の動向やグローバルな銀行システムに対するリスクについてストックテイクするとともに、政策や監督上の様々な取組みについて議論した。

バーゼルⅢの実施

バーゼル委メンバーは、バーゼルⅢの枠組みの全ての要素を完全かつ整合的な形で、かつ可能な限り早期に実施することへの期待を全会一致で再確認した。このようなコミットメントは、G20 財務大臣・中央銀行総裁会議においても最近改めて[表明](#)された。

バーゼル委は、[規制の整合性評価プログラム \(Regulatory Consistency Assessment Programme\)](#) の一環として、韓国における安定調達比率 (NSFR) 及び大口エクスポージャーの枠組みの実施状況に関する審査報告書をレビューし、承認した。これらの報告書は来月公表される予定である。

ノンバンク金融仲介

バーゼル委は、ノンバンク金融仲介（以下「NBFI」）と銀行との相互関連性について議論した。NBFI は、グローバルな銀行システムにリスクと脆弱性をもたらし得る形で成長と進化を続けている。銀行は、広範な直接・間接的な活動やサービスを通じて NBFI と関連している。データギャップにより、NBFI との相互関連

性から銀行が受けるリスクを実効的に計測・管理することが妨げられている。銀行と監督当局は、引き続きこれらのリスクへの警戒を怠らず、相互関連性の範囲と重要性をより適切に把握しなければならない。

バーゼル委は、カウンターパーティ信用リスク管理に関するガイドラインに関する[市中協議](#)へのコメントをレビューした。寄せられたフィードバックに基づき、最近の NBF I の経営難で露呈した銀行のカウンターパーティ信用リスク管理上の弱点に対処するための最終版のガイドラインを承認した。最終化されたガイドラインは来月公表される予定である。

2023 年の銀行を巡る混乱

バーゼル委は、昨年の銀行を巡る混乱から得られた教訓に照らして、監督上の実効性を強化する取組みの一環として、監督当局の日々の監督業務を支援するための実務的なツール式を開発する作業について議論した。この作業は、流動性リスクと銀行勘定の金利リスク（IRRBB）の監督、銀行のビジネスモデルの持続可能性の評価、及び実効性のある監督上の判断の重要性が含まれる。この作業のアップデートは 2025 年初めに公表される予定。

マクロブルーデンス政策

バーゼル委は、リスクが抑制されてはいないが増大もしていないと判断される時に、バーゼルⅢのカウンターシクリカル資本バッファを正の水準に設定している法域で採用されている一連の実務をストックテイクした。以前[指摘された](#)ように、バーゼル委は、各当局がこのような「サイクル中立的な」正の水準を設定する裁量を持つことを支持し、有益性を認識している。そのために、バーゼル委は、サイクル中立的な正の水準の適用を望む法域を支援するための既存の実務に関する報告書を公表することに合意した。同報告書は来月公表される予定。

また、バーゼル委メンバーは、グローバルなシステム上重要な銀行の枠組みに関して、一部の銀行によるウィンドウ・ドレッシング行動に対処するための方策に関する[市中協議](#)へのコメントについても議論した。そのような行動への対処に関する作業は 2025 年も継続する。

気候関連金融リスク

バーゼル委は、気候関連金融リスクに関する第 3 の柱の開示枠組み[提案](#)のレビューを継続した。この作業の最終化は 2025 年前半を予定している。